みぞくちミニ新聞
発行元　みぞくち
購読無料
毎月発行

みぞくち新厨房完成しました

7月30日みぞくち新厨房が完成。新厨房を移設したのには2つの訳がある。

1つめは、食堂と厨房をつなぎたかった。以前の厨房は食堂とは別棟にあり、大きなワゴンで食事を運んでくる必要があった。当然、片付けも度々運んで帰らなければならない。お天気の良い日も雨・嵐の日もだ。そして、食堂の給湯室で食事をトレーにセッティング。手間もかかっていた。

新厨房は食堂と繋がっている。昼食はトレーに配膳され、厨房の両面戸棚にセッティングされる。利用者の皆さんはそこから食事をテーブルに運べばよい。とても便利になった。

2つめは、餅作業場の拡張だ。定評のあるみぞくちの餅「ひめのほっぺた」はこれまで6畳ほどの狭い作業場で製造していた。繁忙期には忙しいのと狭いのとで、そこそこしんどい思いもあっただろう。これからは、餅作業場の隣にある以前の厨房室を新たな作業場として使用する。念願の杵つき餅の製造もここならできる。今年の正月の餅に間に合うかどうかわからないが、機器を揃えて準備したい。

ということで、7月末の4日間ほどは外注のお弁当を用意させていただいた。中にはお弁当を持参される方も。利用者・ご家族のみなさんにはご協力いただきありがとうございました。

7月30日からすでに新厨房での調理を開始し、最初のメニューはハヤシライスだった。所長はその日休みだったので、31日の昼食からいただいた。たまのお弁当は良いが、やっぱり作り立てのご飯がおいしいね。

食堂も少々模様替えし、利用者の皆さんの配膳・下膳がスムーズに行えるよう、試行錯誤している。しばらくは色々やってみて、皆さんが食事しやすい環境を模索していく。

保護者の皆さんにはコロナがある程度収まった後に、お披露目したいと思っています。

マスクと熱中症

今年の梅雨は例年より早く明け、あっという間に真夏がやってきた。毎年暑い夏だが今年は息苦しさを感じる。マスクのせいだ。今やマスクは日常のスタイル。なんの違和感もなく常時着けている。ただ、この暑さの中では大いに問題がある。特に屋外での活動になると、ちょっと額に汗がにじんでも、マスクの中はおびただしい汗。そして、体感する酸素不足。

就労の皆さん、特に公園掃除にでる皆さんは暑さには慣れ、熱中症対策も万全で作業にかかる。ただ、マスクをしての作業はさすがに無理。ありがたいことに、公園掃除は人との距離が十分とれる。マスクを外し作業に取り組む。全国でも熱中症で救急搬送される人は増えている。コロナと熱中症、どちらも防ぎながら上手に作業を進める。

ところで、所長はちょっとの力仕事でも、おびただしい汗をかくタイプ。気づかずマスクをしていると、汗にまみれてもう使えない。今年の夏はマスクがたくさんいるなー。

久々の発表にワクワク！

岡山県知的障害者福祉協会が主催する「ゆうあい文化祭」。毎年県内の舞台ホールを借りて行っている。みぞくちは見学を楽しみに参加していた。が、昨年はコロナのため残念ながら中止。今年は発表したい事業所がそれぞれビデオを撮影し、それを編集してオンラインで見るそうだ。なんと、今年のゆうあい文化祭の発表にはみぞくちもエントリー。多くの皆さんに見てほしい様だ。

何を発表するのか、所長にはまだ知らされていない。大きな期待と小さな不安が交錯している。だが一つ間違いないことは、きっと楽しいものになるだろうということ。舞台での一発勝負ではないので、利用者の皆さんもそして職員も、気軽に本来の姿で発表できそうだ。今から、ワクワクしますね！

発表までこうご期待。その際にはまた執筆します。